

さる平成26年12月18日(木)~19日(金)、1泊2日の日程で慶応大学・東京大学・東京工業大学の連携講座が開催されました。この連携講座は4年目ですが、今年度から東京大学に加えて東工大・慶応大でも講座を開講していただき大変充実したものになりました。参加者は1年生(第69回生)の希望者14名(男子11・女子3)と、武友校長、学年主任の石井の総勢16名でした。



18日(木)は、午前慶応大学(三田キャンパス)、午後東京大学(本郷キャンパス)での連携講座が予定されていましたが、大雪のために交通機関が乱れ、品川駅には80分近く遅れて到着しました。慶応大学 法務研究科教授 北居 功氏(32回卒)が品川駅まで出迎えて下さいました。三田キャンパスに着くと南門(正門)から南館に移動し、塾監局の脇を通過して福沢諭吉銅像のある図書館旧館へ。また、三田演説館などの歴史を感じさせる建物や都心のモダンな校舎を目にすることができました。到着が遅れたために先生の講義を受けることができず、生徒諸君はとても残念そうでした。



その後、東京大学大学院 工学系研究科教授 高田 毅士氏(25回卒)が三田キャンパスまで迎えに来て下さいました。

東大本郷キャンパス到着後、安田講堂地下の学生食堂で昼食を取りました。午後からは東京姉水会会長、前川一郎氏も激励においでになり、夕方までお付き合い下さいました。

広大なキャンパスと施設のすばらしさ、また三四郎池などの史跡に驚嘆し、先生の研究室の屋上からは夕日に映える安田講堂やスカイツリーなどが鮮やかに見え、一同大変感動しました。





先生は『建築構造デザイン入門』と題して「その目的や意義」、「構造形態と基本3要素」、「建築材料」や「壊れるパターン」など、パワーポイントを使って解りやすく講義してくださいました。

夜は錦糸町の東急ホテルレバントに宿泊し、生徒諸君は夕食のバイキングを十分堪能しました。また、各部屋からはスカイツリーが間近に見え、その大きさに圧倒されました。



19日(金)午前はスカイツリーを見学し、改めてその高さに圧倒されるとともに、雲一つない快晴の中、展望台からは富士山もはっきりと見ることができました。

その後、東京工業大学 大岡山キャンパスへ移動。

蔵前会館の手島誠一記念会議室で東工大大学院 理工学研究科教授 藤居 俊之氏(35回卒)から東工大について説明をしていただきました。その後、大学構内にあるレストランで東京姉水会役員の方々に昼食をご馳走になりました。東大 高田教授も駆けつけて下さいました。虎高卒業生の皆さんとはローカルな湖北の話や様々な経験談、藤居教授の教え子の学生の皆さんには学生生活など貴重なお話を伺える楽しい歓談の時間になりました。

午後からは学生の方々と先生の案内で広大なキャンパスを巡りました。信じられないような設備の図書館、ソーラー発電でその建物の電力を全てカバーするという近代的な施設、世界に数台しかない走査透過電子顕微鏡を見学させていたき、物理学専門の山本教授の説明を伺いました。なかなか理解するのは難しいものでしたが、ただただ感動しました。また、実際の授業を見学したり、鳥人間コンテストでお馴染みの『マイスター』というサークルを訪ねて機体を見学するなど、実際の大学の様子を肌で感じることも内容の濃い充実した時間が持てました。この間、先生の教え子である学生の皆さんには大変親切に案内していただき、生徒達は大変感動していました。今回の連携講座でお世話いただいた東京姉水会の役員の方々、北居教授、高田教授、藤居教授、東工大学生の方々に改めてお礼申し上げます。

今回の経験を活かし、志高く高校生活を有意義に送ってもらいたいと思います。そして、一人でも多くの生徒諸君が先輩諸氏の教え子となる日が来ることを切に願います。





## 生徒感想（抜粋）

- 日々の生活では感じられないであろう刺激と好奇心に徐々に包まれることができ、充実した二日間でした。
- 高田先生の講義は、建築に進みたいと考えていた自分にとってとても興味深いものでした。これからの飛躍の糧にして努力していきたいと思います。
- 大学の先生方や姉水会の役員の方が言われていた『志を高く持って学習すること、自分の目指す大学(学問)に対して妥協せず努力を続けること』の大切さをひしひしと感じた。近畿圏の大学に進みたいと考えていたが、視野を広げて考えてみたい。
- 家族にあまり負担をかけたくないという一心で将来は地元の大学に進学しようと考えていましたが、今回の講座に参加してみて、今まで自分はとても狭い視野からしか見ていなかったことに気づかされました。
- 東工大で昼食をご馳走になった時に伺った話は、大変ためになりました。これからの高校生活に活かしていきたいと思います。
- 広大なキャンパスと素晴らしい設備があって、建物も古い面影を残しつつも、近代的なものもあって感動した。多くの学生の方々が生き生きとしている雰囲気を感じられてとても良かった。
- たくさんの先輩方や東工大の学生の方からお話が聞けて本当に良かった。また、こんなに活躍しておられる先輩方が多いのを知って、虎高生であることをとても誇らしく感じた。
- 自分の進路についてもう一度考え直すきっかけとなり、参加して良かった。大学入試や将来の夢の実現に向けてしっかり勉強していきたいと思います。
- 慶応大で北居先生の講義が聴けなかったことがとても残念でした。東大や東工大は理系なので、後輩には文系の講座が今後も開講されることを願います。

